

市長とランチミーティング③

放課後、子どもたちが安心できる場を

第3回「市長とランチミーティング」は9月17日(金)に「親子石ガキクラブ」の皆さんと行われました。そのミーティング内容を紹介します。

中山市長 今日子ども連れでのランチミーティングで少々騒がしいですが、私も小さい子どもがいるので、よく分かります。ざつくばらんにいろんな意見が交換できればと思います。お母さん方の本音ベースでのお話をお聴かせください。

クラブ員 市長は2児のお父さんでもありますので、私達母の見えない部分のアイデアも「パパの心」で出し合っていけたらと思います。

子どもセンターを開所して

中山市長 皆さんは子どもセンターを利用していると思います。が、改善してほしい点とか、何かご意見はありますか。

クラブ員 今、子どもセンターは4歳までの子どもの利用が多く、子どもより大人が上回っています。私達が最初に思っていた児童館のイメージと変わって



子ども支援センターという状態になっていきます。このセンターの目的は放課後に居場所のない幼稚園以上の小学生までの児童の居場所をつくってあげようということでした。

クラブ員 小学生は放課後、利用できませんが、実際、センターの周辺に住んでいる子どもに限られてしか通うことができないですね。

中山市長 子どもセンターが本来の児童館の役目を果たしていないということが分かりました。子どもセンターは午前4歳児まで午後5歳児以上となっていて。しかし、以前、子どもセンターの様子を観ていたら、高学年の小学生のお兄ちゃんお姉ちゃんも遊んでいる小さい子どもとの間であぶないと感じる場面がありました。小学生と小さい子どもがぶつかって、ひっくり返らないかとヒヤヒヤしました。安全面からも通園の時間帯を守ってほしいと思います。

クラブ員 子どもセンターを日曜日にも開けてもらえたら助かります。働いているお母さんは普段行けないし、日曜日にお父さんがいない家庭もあります。

中山市長 那覇市の児童館は平日は市が運営、土日はNPOが運営しているところもあります。前向きに考えていきたいと思っています。

学校の空き教室、公民館の活用を！

クラブ員 横浜市では小学校の空き教室を利用して児童館を運営していますが、そういうことはできませんか。

中山市長 可能でしょう。

クラブ員 小学校や公民館は、その地域の子ども達が利用することができるので、その場所が一番いいと思います。

クラブ員 東京では学童クラブというものが、地域のボランティアの方が世話をしており、保険料(200円程度)を払って無料で利用できます。

森永保健福祉部長 市には学童クラブが5カ所あります。教育委員会が担当していますが、石垣小、川原小、宮良小、白保小、明石小です。

クラブ員 特別なカリキュラムがなくても、気軽に行けて、みんなで勉強したり宿題したり、単純に子どもが放課後、自宅に誰もいない場合、通うことができる児童館をつくれないうるか。もちろん、学校側や地域のボランティアの方に了解を得た上での施設としてです。

中山市長 児童館みたいなものを学校の中につくったという話ですね。子ども達が集まる場所として空き教室を児童館として有効利用することは良いことだと思います。

クラブ員 放課後、学校で遊ぶ

市長とランチミーティング

ということを容認してもらえないか。学校や父兄から何かあった場合、どうするか、という問題が出てくると思いますが、そういう問題を何かでクリアすることができないか。市全体で週1、2回、学校や公民館を開放してもらえないだろうか。

森永保健福祉部長 子どもセンターとして開所した児童館はおかげさまで、乳幼児から幼稚園児までの利用度が多く、非常にいいことです。現在は健康福祉センターに立ち上げており、ほかの場所にもあればいいと思いますが、場所を含めてどういうところに増やしていくか、それが実現できれば、皆さんのいうことが解消できると思います。

クラブ員 新たに公共施設を建設するのは莫大な予算がかかるので、やはり学校の空き教室利用は有効な方法だと思います。空き教室が開放されれば、地域の中での子育てがものすごく密になるし、学校に出入りする地域の方もいるので、交流ももてます。中山市長 財政的に児童館を新築するというのは無理です。やはり空き教室や公民館を使うことになるかと思っています。

お年寄りとコミュニティ シヨンで元気な村へ

クラブ員 石垣は気候と風土が良いので、ものすごく元気なお年寄りが多い。子どもとお年寄

りの交流は大切だと思います。元気なお爺ちゃんお婆ちゃんはいっぱいいいて、子どももどんどん増えていくが、人は疎遠になって反比例しているような気がします。子どもとお年寄りがコミュニティシヨンをもてる場が、各村にあればいいなと思います。

森永保健福祉部長 皆さんは地域の行事に参加していると思いますが、石垣は年中、地域の行事がありますので、積極的に出て行くことが大切ですね。子どもセンターでも登野城のいやまし老人会が「昔の遊び」をいろいろと企画しているところでは大事です。

中山市長 児童館としての空き教室、公民館の利用についてのこままでの話は総合して考えてみましょう。

幼稚園の段階で、 ひらがな教育を

クラブ員 幼稚園によつては、ひらがなを専門に教えているところがあると思いますが、実際、ひらがな教育をしているんですか。

池田学校指導課指導主事 石垣市で実施しているということは把握していません。全国どこでも同じ指針の幼稚園教育が受けられ、その要領にはひらがなを教えるということはないです。幼稚園でひらがなを教えて

はいけないということではありません。子ども達が文字や数に興味をもつような環境を作り、興味関心をもたせましようということですね。小学校入学時に興味関心をもとにきちんとした指導のもとで学んでいくことが幼稚園の務めだと思っています。

クラブ員 幼稚園下園後、つきつきりできてあげるお母さんとは仕事をしているお母さんの子とは、差がでてしまうことは仕方がないことですか。幼稚園で、ひらがな教育に引き上げて教えることは可能ですか。

池田学校指導課指導主事 小学1年時に基礎、書き順から教えるのがいいのではないかと、という先生もいます。教えてはいけませんが、かるた遊び等を通して興味関心をもたせて質問されたら教えるという状況です。

クラブ員 石垣市独自に幼稚園でもひらがなを教えることは可能ですか。

中山市長 これは調整ということになります。石垣の学力をどこまでもつていくかという考えの中で、幼稚園の段階でひらがなができるのであれば、小学校でのとりかかりが一番早いということも分かれば、小学1年でのシステムを幼稚園の後半の数ヶ月間にプログラムするということになれば、私立も含めた石垣全体の話になります。

石垣のホームソングを作ろう

クラブ員 歌を通して情操教育をするという提案ですが、どうですか。石垣のホームソング。例えば、方言や楽しい言葉をたくさん使った子どもに浸透させる。子ども達が歌うことによって大人にも伝えられるもので、大人版もつくってみたらどうか。生活パージョンや島の文化財産パージョンとか。作る際は公募でもいいのでは。

中山市長 今日は貴重な意見をたくさんいただきありがとうございました。お母さん方の声を聴くことも大事ですし、日頃話している内容と重なることもありそうです。今日の話を行行政側でできる範囲の部分で一回精査して、どこまでできるか、やってみます。公民館の開放、小学校の空き教室なのか、そのあたりも調整しながらやってみます。歌（石垣のホームソング）の方はお母さん方でお願います。児童館について、今の子どもセンターは実際に本場の意味での児童館になつていないので、子どもセンターを改善するのか、別に小学校の空き教室や公民館を使うか、どちらにするのか、調整してみます。そのうなれば、各地域に一つずつできる可能性がありそうです。前向きにやってみようと思います。子ども達のひらがなの読み書きの問題は切実に感じています。学力向上の問題もあり、4年後10年後に学力が上がる、といういいなと思います。ので、ぜひ、やりましょう。